



2月20日

令和6年12月15日にご逝去された吉道勇元貝塚市長(10期・40年)に従四位が叙され、市役所で酒井市長からご遺族様に叙位の伝達を行いました。

あらためて貝塚市政伸張への多大なるご貢献に感謝するとともに、これまで支えてこられたご遺族様に心より敬意を表します。



2月27日

ひと・ふれあいセンターで「ひな祭り料理講座」を実施しました。

和気あいあいとした雰囲気の中で、参加者の皆さんはお互いに協力しながら簡単に作れるものから少し工夫を凝らしたもので、バラエティ豊かな料理を作りました。



2月23日

つげさんぬいぐるみの販売を記念し、まちの駅かいづかで「ぬいぐるみの手渡し撮影会」を実施しました。

先行予約されたつげさんファンは、ぬいぐるみを手に楽しそうに記念撮影をしていました。

3月2日



木彫り体験



つげ櫛仕上げ体験

万博に共同出展する香川県東かがわ市で開催された「引田ひなまつり」に貝塚市PRブースを出展しました。伝統工芸品であるつげ櫛とだんじり彫刻の体験会を実施し、参加者は楽しみながら挑戦していました。

3月2日

「2025 KAIZUKA Glowing DRONE CUP」が市立ドローン・クリケットフィールドで行われました。最高時速160km以上で急旋回・急加速するドローンに来場者からは大きな歓声が上がりました。



3月8日

貝塚市の山手を歩く貝塚ゆったりグリーンウォークを開催しました。

今回は貴重な史跡である「根福寺城跡」を特別に散策しました。参加者は、美しい自然の中で心身をリフレッシュしながら、歴史に思いをはせていました。

※城跡は私有地のため、普段は立ち入ることは出来ません。

3月13日

保健・福祉合同庁舎2階で「赤ちゃんからできるスキンケア・アレルギー講座」を開催しました。初めにスキンケアの主な注意点についてのスライドによる講義がありました。実技では、ふわふわの泡の作り方、身体の洗い方、保湿剤の塗り方などを学びました。参加者は、熱心に話を聞き入っていました。



3月15日

市立総合体育館で「貝塚卓球フェスティバル」を開催しました。

参加者は、日本生命レッドエルフやジュニアアシスト卓球アカデミーの選手たちと楽しく交流しながら、日本トップレベルの技術を体感していました。



市長コラム

在阪の各国総領事館とご縁を紡ぐ
万博開催時の誘客、そして今後の国際交流へ

府内には16もの諸外国の総領事館などが置かれています。その業務は、訪日中の自国民の保護・支援、政治・経済などの情報収集、広報文化活動など、多岐にわたります。

私は、平成18年から3年間、外交官として在ブラジル大使館での勤務しました。外交官は日々報道記事をチェックし、その記事の背景事情について相手国側政府関係者に取材するなど、情報収集のアンテナを張っています。ただ、振り返るに、各都市の市長と面会してその都市の魅力に関する情報収集ができる機会はほとんどありませんでした。

ならば、万博開催を控え「座して待つ」のではなく、こちらから貝塚の魅力を外交団に伝え、知名度を上げ、まずは訪日客の滞在先の選択肢に貝塚を加えてもらえるようにと、私はいま各国の総領事にお会いして貝塚のPR活動を「戦略的」に展開しているところです。実際、ある総領事からは「総領事館として日頃から情報収集に努めているが、市長から直接ストーリーを聞けることはなかなかない。さらに深く取材させたい」といった反応も得ました。

私は、万博開催時の誘客のみならず、さらに今後の国際交流へとつなげていくためには、まさに「戦略的」な相手国ごとのストーリー展開が重要だと考えています。各国の総領事とは、今回の万博こそ、次代を生きる若者にとって、グローバルな課題に対し、人種・民族・文化、宗教などの違いを越え、英知を結集し皆で解を見つけていくことの大切さ、すばらしさに気づく機会にしなければならぬと意見が一致しています。

オーストラリア総領事との間では、本市が人権尊重のまちづくりに特に注力していること、そしてクリケットはオーストラリアでは先住民、白人系移民、中華系移民などの違いを越えて国民がつながり合うスポーツとして楽しまれている中で、フィールドを有する自治体として、クリケットを切り口に多様性を尊重する国際交流を推進していくこととする本市の姿勢に深い共感を持っていただけた。

また、オランダ総領事との間では、オランダは標高が低く地球温暖化による海面上昇に対する危機意識が高いことを念頭に、本市には国際環境認証のブルーフラッグを得ている二色の浜があり、市立施設では珍しい登録博物館である自然遊学館においては、自然生態系の保全活動を推進していること、本市には開業100周年の水間鉄道があり、自家用車に過度に依存しない公共交通中心のまちづくりを進めていることなどをPRし、大きな関心を寄せていただけた。

「セカイツナガル」「世界につながる」ために、在阪外交団との縁をこれからも能動的に紡いでいこうと考えています。

問合せ先

魅力づくり推進課

☎072-433-7232

